

言葉の務め

= 知恵に頼る =

箴言30章とローマ10章

私たちの告白(1-4節): 私たちの無知と無力(比較:ローマ10:1-7) キリストにあっては可能(ヘブル8:11)

神の言葉の性質と約束(5節) 信仰による義(ローマ10:3-4; ヤコブ1:21)

御言葉に対する警鐘(6節) すでに完成している御言葉(イザヤ34:16; ヘブル1:1; 黙示録22:18)

私たちのふたつの願い(7-9節)

(a) むなしなもの、偽りの言葉から遠ざかる 書かれた御言葉にとどまる(1ヨハネ2:24)

(b) 定められたパンで養われる 信仰の分に応じた生き方(ローマ12:3)

キリストは神のロゴス(ヨハネ1:1)であり、今やうちにいます方

神の言葉はうちにある(ローマ10:8); ただし外なる言葉との照合が必要!
(使徒17:11)

暗証聖句

箴言30:5 神の言われることはすべて清い。身を寄せればそれは盾となる。

ローマ10:8 では、何と言われているのだろうか。「御言葉はあなたの近くにあり、/あなたの口、あなたの心にある。」これは、わたしたちが宣べ伝えている信仰の言葉なのです。

ヤコブ1:21 だから、あらゆる汚れやあふれるほどの悪を素直に捨て去り、心に植え付けられた御言葉を受け入れなさい。この御言葉は、あなたがたの魂を救うことができます。